



# 奈良県感染症情報

令和元年 第 44 週( 10 月 28 日～ 11 月 3 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.44	(2.56)	↗	↗	↑	→
2	RS ウイルス感染症	1.56	(2.35)	↓	↘	↓	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.21	(1.32)	→	↘	→	↓
4	手足口病	0.71	(0.41)	→	→	→	↑↑
4	伝染性紅斑	0.71	(0.94)	↗	↑	↗	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告は、増加傾向です。例年、秋以降にはノロウイルス胃腸炎が流行します。流行する時期には、症状がある人だけではなく全ての人が調理前や食事前、トイレの後などに石けんと流水を用いた手洗いを心がけてください。

インフルエンザは、全ての保健所から報告がありました。まだインフルエンザのワクチン接種を受けていない方は、早めに接種するようにしましょう。

伝染性紅斑が例年に比べて非常に多い状況です。妊婦の方は、感染すると胎児に影響することがあるため、風邪様症状のヒトとの接触を避けるなどの注意が必要です。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(矢追医院)

外来はインフルエンザ予防接種希望者で混雑していますが、感染症はまだ多くありません。保育園児で手足口病が再び流行しています。熱を伴わない場合が多い印象です。RS ウイルス感染症も 2 才以下でまだみられます。インフルエンザは奈良市在住の方からは見かけません。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

RS の流行が持続。RS 様の姉から罹患の生後1か月児の陽性例があった。A 群溶血性連鎖球菌陽性例が増加。発熱あり・発疹なしの4歳男児で初診時に両手指皮膚剥離を認めたが想定される先行感染はなかった。同時に母親37歳も陽性であった。感染性腸炎が増加。嘔吐は少なく下痢が主の例が多い。ロタ陰性。水痘がわずかにあった。

インフルエンザ陽性例はまだない。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A 型インフルエンザの流行が拡大している。RS ウイルス感染も続いている。

胃腸炎の大きな流行はみられていない。マイコプラズマ様の呼吸器疾患は増加してきたが、迅速陽性例は少ない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 44 週 10 月 28 日 ~ 3 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	19 (0.35)	1 (0.07)	2 (0.14)	3 (0.27)	3 (0.30)	2 (1.00)	8 (2.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	53 (1.56)	14 (1.56)	10 (1.11)	14 (2.00)	15 (2.50)			
咽頭結膜熱	15 (0.44)		2 (0.22)	5 (0.71)	7 (1.17)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	41 (1.21)	4 (0.44)	9 (1.00)	16 (2.29)	11 (1.83)	1 (1.00)		
感染性胃腸炎	151 (4.44)	25 (2.78)	37 (4.11)	31 (4.43)	54 (9.00)	3 (3.00)	1 (0.50)	
水痘	4 (0.12)	1 (0.11)	3 (0.33)					
手足口病	24 (0.71)	11 (1.22)	3 (0.33)	9 (1.29)			1 (0.50)	
伝染性紅斑	24 (0.71)	10 (1.11)	7 (0.78)	4 (0.57)	3 (0.50)			
突発性発しん	11 (0.32)	3 (0.33)		3 (0.43)	5 (0.83)			
ヘルパンギーナ	3 (0.09)		2 (0.22)				1 (0.50)	
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)	2 (0.22)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	4 (0.40)		1 (0.33)	2 (1.00)	1 (0.50)			
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市1、郡山1、中和7)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 百日咳2件(奈良市1、19歳、郡山1、14歳) 麻疹1件(郡山1)

❖ 第 44 週のトピックス ❖

◆ 感染性胃腸炎(特にノロウイルスについて)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

◆ 災害時における避難所での感染症対策

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_00346.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00346.html)

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男						2	2														10	5713
	女						2	1					2						1	1		9	5923
RSウイルス感染症	男	2	4	8	4	5	1	1	1													26	962
	女	1	6	9	7	4																27	846
咽頭結膜熱	男			2	1	1				1												7	415
	女			1	2	2																8	294
A群溶連菌咽頭炎	男			1	1	3	3	4	2	5	1	2	1									23	1405
	女			1		3		4	4		2	2	1									18	1088
感染性胃腸炎	男		6	8	10	3	8	6	3	1	5	3			14							67	3828
	女	2	12	13	8	6	4	2	4	1	3	1	8	2	18							84	3500
水痘	男			1									1									2	200
	女						1						1									2	140
手足口病	男	1		2	3	3	1	2	1													13	1672
	女		1	5	2	1			1				1									11	1424
伝染性紅斑	男				1	5	2	3	2	2	1											16	311
	女				2	2			4													8	280
突発性発しん	男		3	3																		6	325
	女		1	2	1	1																5	246
ヘルパンギーナ	男			1																		1	425
	女			1	1																	2	398
流行性耳下腺炎	男									1												1	40
	女						1															2	40
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男							1														2	137
	女														1							2	125
細菌性髄膜炎	男																						9
	女																						6
無菌性髄膜炎	男																						12
	女																						9
マイコプラズマ肺炎	男																						30
	女																						30
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						46
	女																						35

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

